



Architecture  
Presentasion

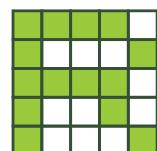
architect  
Naoki Miura

## Bauhaus Project



三浦直樹建築事設計務所

建築家と建てる家を、  
身近に、手軽に



R+house

※建築家住宅(建築士の資格を持つ独立した建築家により基本設計された住宅)  
主要供給事業者7社における2017年度、2018年度新築供給数  
(株)矢野経済研究所調べ/2019年8月現在

2年連続  
[建築家住宅]  
新築供給数 全国  
No.1





担当建築家

三浦 直樹

Miura Naoki

三浦直樹建築設計事務所@京都

住まいは、住まう家族に大きな影響を与えます。人生を左右するといっても過言ではありません。そう考えると、住まいは美しくなくてはなりません。見た目だけではなく、美しさのあり方が大変重要です。当たり前のものが当たり前に、るべきものがあるべきところに収めることを大切に、施主が飽きることなく、いつまでも家が好きでいられるかは当然のこと。自分もその家を好きでいられるか、住みたいか、それを設計する上での大きな基準としています。

### Profile

1982 滋賀県生まれ

2005 京都造形芸術大学芸術学部環境デザイン学科卒業

2005～2013 横内敏人建築設計事務所

2013～三浦直樹建築設計事務所

敷地面積：103.53 坪 (342.27 m<sup>2</sup>)

1階床面積：26.47 坪 (87.53 m<sup>2</sup>)

延床面積：26.47 坪 (87.53 m<sup>2</sup>)



# 余白と角度で整えた家

## POINT①

細長く、隣家に囲まれた土地・・・どうデザインする？

## POINT②

プライベート空間とパブリック空間を明確に分けた配置

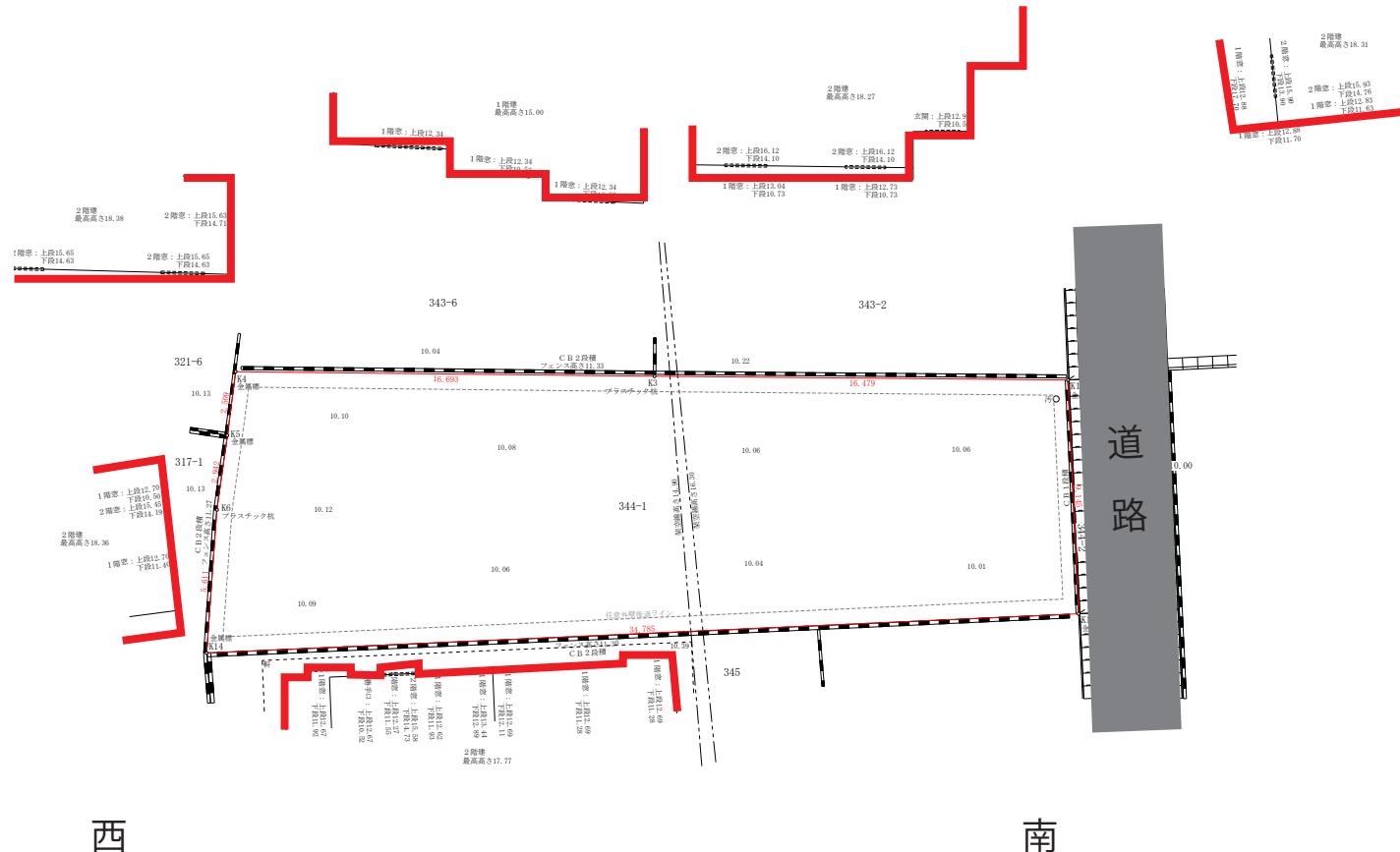
## POINT③

「く」の字を希望・・・見た目のデザインだけではなく、どこを曲げれば  
過ごしやすい空間になるのか？

## 配置計画

北

東



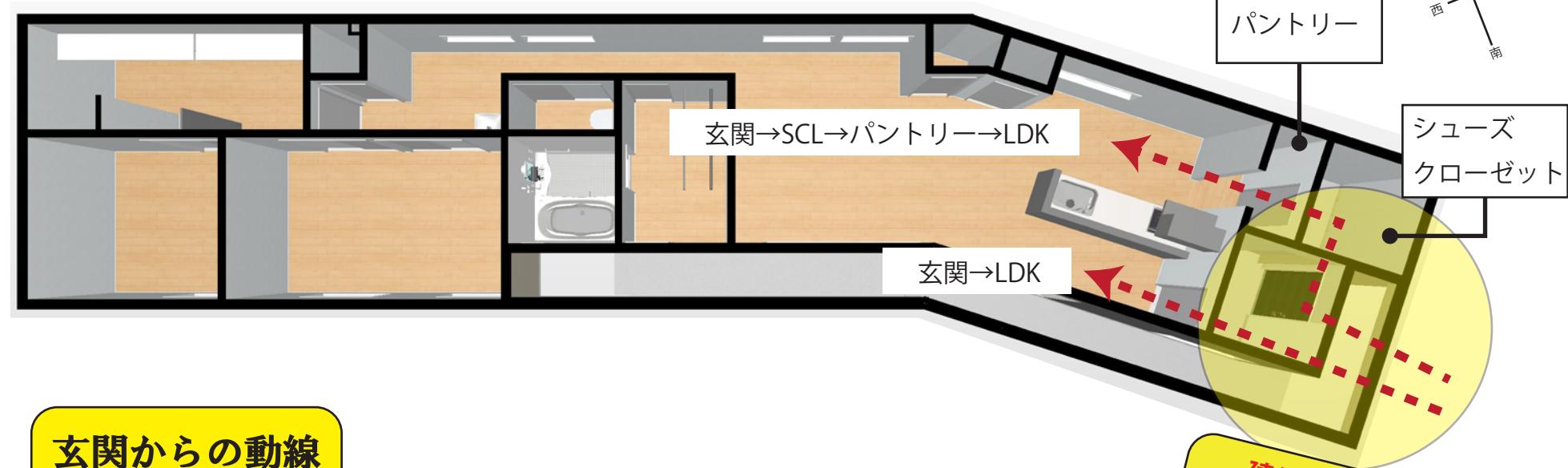
西

南

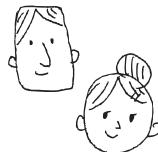
隣家の位置、玄関や窓の位置、高さ等も計測します。そのデータをもとに建築家は現地を調査し、視線・風の抜け方・光の入り方、隣家や周辺からの見え方等を総合的に見て、その敷地に合ったベストな設計をします。

## POINT

- 周囲を家で囲まれている中で、プライバシーを確保できやすい方位と光の入り方を考慮してリビングの窓、庭を配置
- 道路から離れた奥の方は「プライベート空間」、手前は「パブリック空間」と、土地の形状を、より活かした設計
- 土地の手前（道路側）が光が入りやすいが、駐車場の確保も必要…手前に駐車スペースをとりつつ、庭や室内にも光が入るような配置



## 玄関からの動線



玄関から室内に入るときの動線が2つ欲しい。  
靴を置く収納と、ベビーカーとかカッパなどを置く場所があれば良いな。



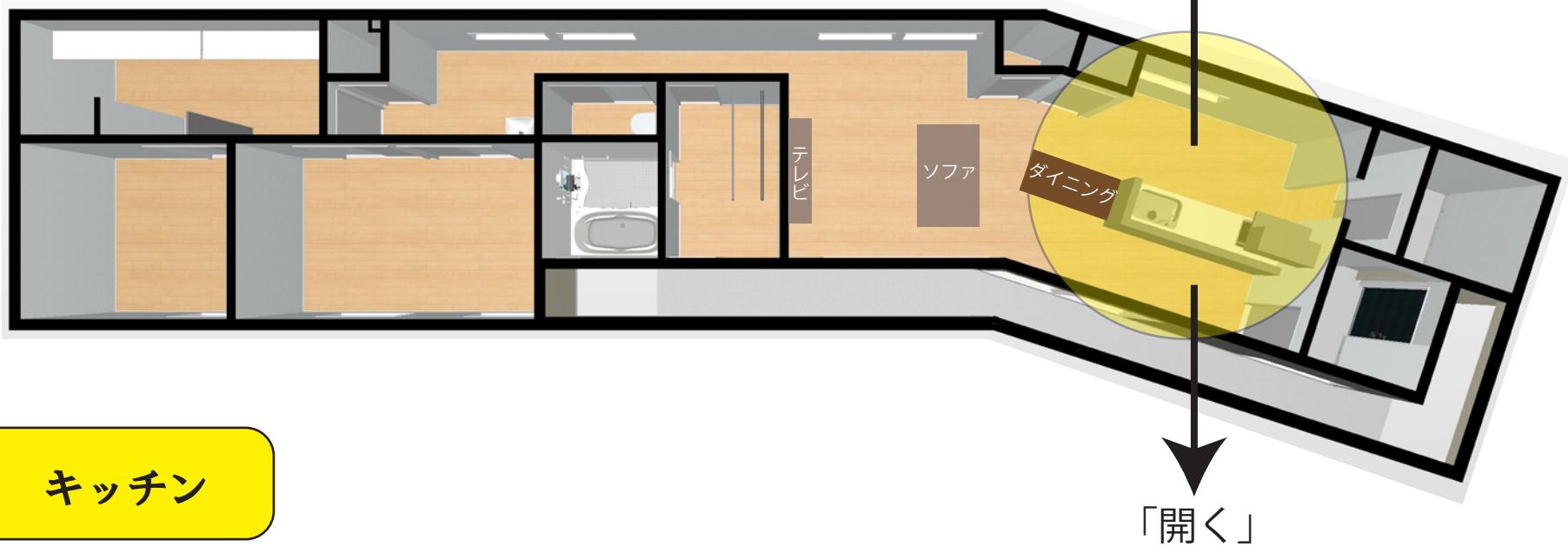
玄関からの動線は玄関→SCL→パントリー→キッチンという流れになるので買い物をして帰宅したときの収納もスムーズになります。

家族動線側は、外から中の様子が見えないようにあえて閉じています。高めの窓で、光と風は入ってきます。

玄関→LDKの来客動線は、庭を眺めながら室内に入つてこれます。

これにより、外に視線が広がるのでより広く感じられる効果があります。

**建築家 POINT  
要望 + αの提案**



## キッチン



キッチンの内部が家族以外に見えるのが嫌だから、見えないようにしてほしい。



キッチンの内部は外からの視線も考慮し高めの窓をつけています。明るいけど、外からの視線は入りません。リビングの向きを西に向けることで、キッチン内部がお客様から見えにくいカタチになっています。



TVが見えないのが・・・寂しいかも。  
キッチンをテレビ側にむけることはできますか？

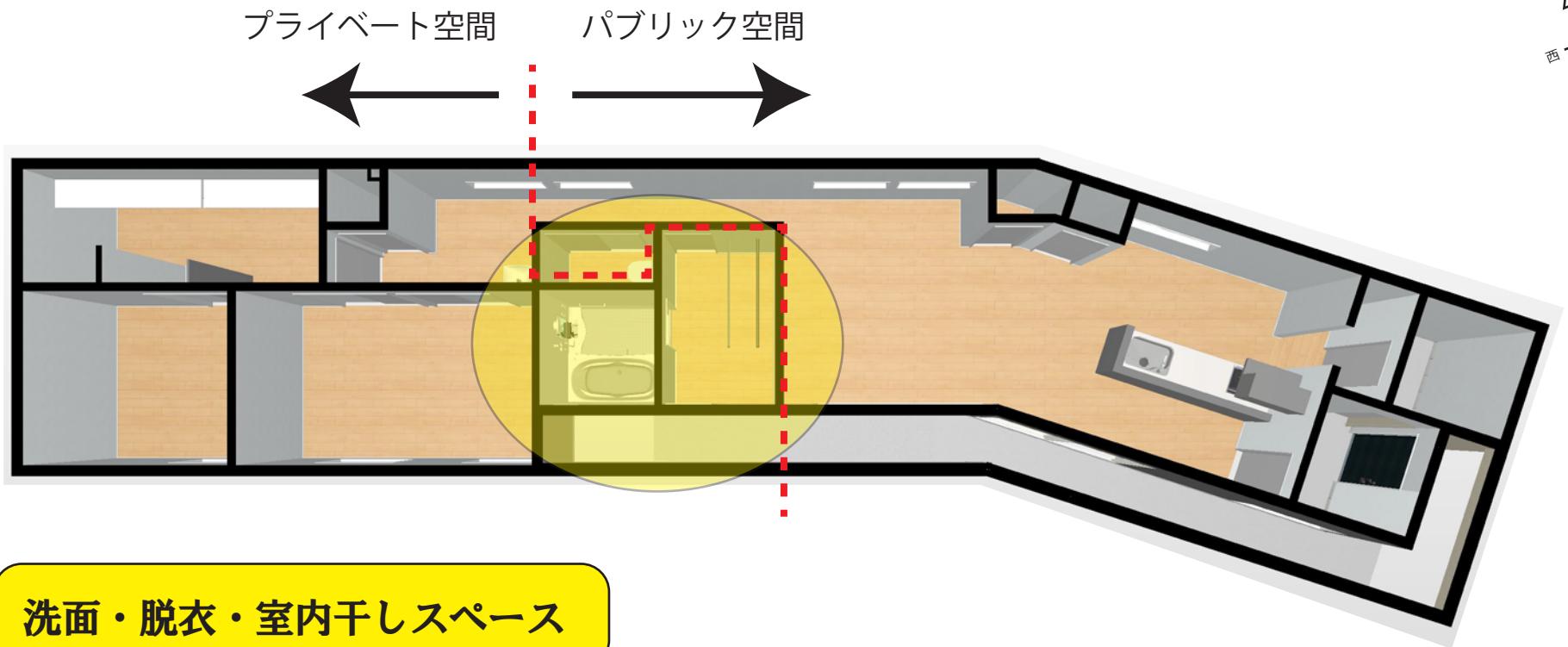


できますよ。ただ、そうしてしまうと、キッチンの横の通路が狭くなってしまいますし、玄関からお客様が入ってきたときにキッチン内部が見えやすくなってしまいますので、ご要望を考慮すると、この方向がベストだと思います。テレビも真正面ではありませんが、見えない位置ですよ！



そうか！確かにそうですね・・・  
やっぱり、この配置でOKです！

**建築家 POINT**  
YESばかりではない  
本当のベストを提案する



## 洗面・脱衣・室内干しスペース



土地の形状から、西側にプライベートな空間、東側はパブリック（来客なども来る空間）な空間と明確に分けました。そうすることでクローゼットや、寝室などのあまり人に立ち入られたくない場所に来客が入ることがないので、より安心して過ごすことができ、収納も常に綺麗にしておく必要もありません。



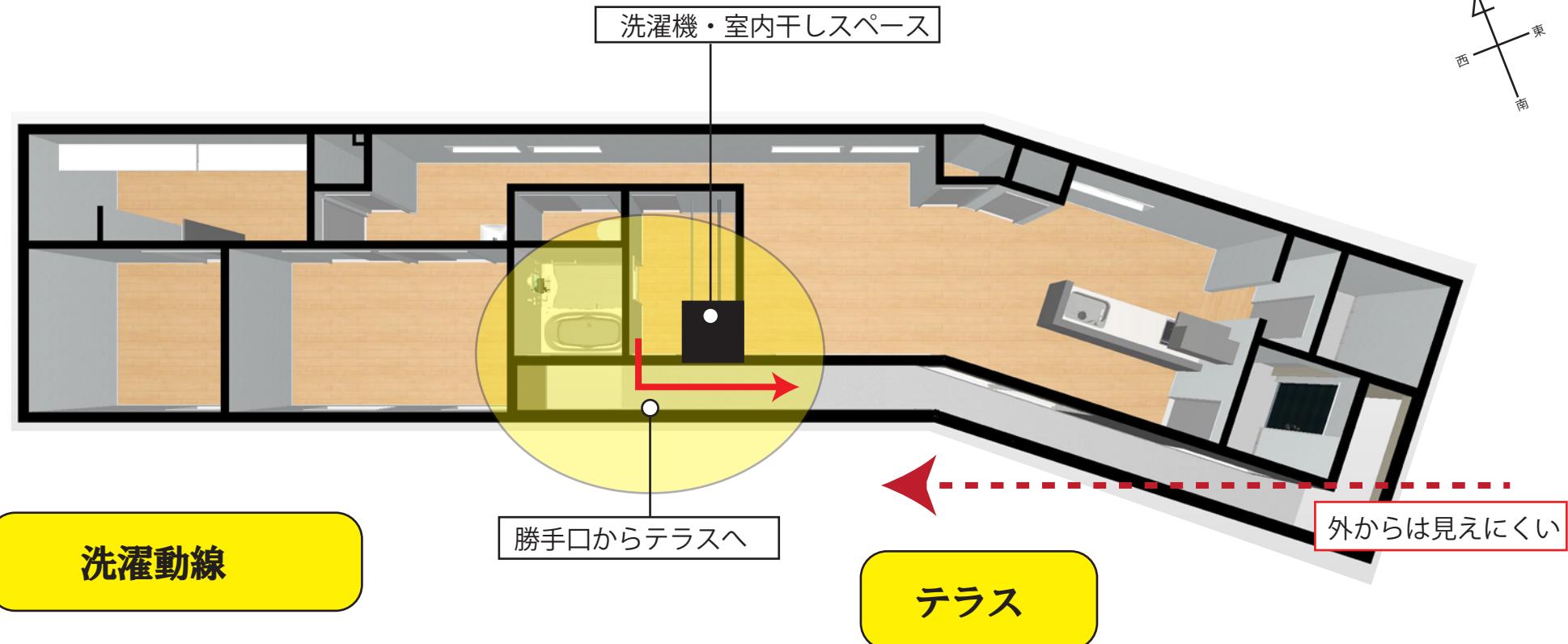
洗面を玄関すぐに配置も考えましたが、そうするとLDKのスペースが削られてしまいますし、お風呂やトイレから遠いのも不便なので、帰ってからの家族の手洗いはキッチンでしていただければ良いのかなと思います。



帰ってからすぐに手を洗います。



確かにそうですね。手洗いはキッチンでも大丈夫です。



洗濯に関しては、絶対「こう！」というの無いですが『室内干し』スペースは欲しいです。

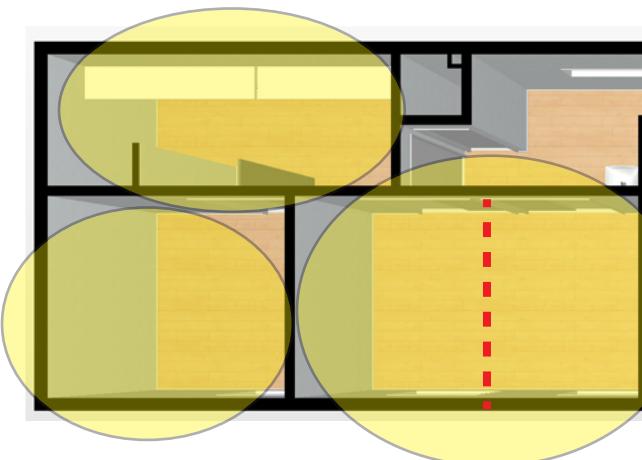


リビングに面してテラスがあることで床が繋いで、広く感じることができます。LDKにいながら、庭の様子も伺えますし、道路側からは建物が「く」の字に曲がっていることにより庭が見えにくくなっているので気兼ねなく遊べますよ。



洗濯は「室内干し」と「外干し」の両方でも不便が無いように考えました。室内干しであれば洗濯機からすぐ取り出して、干せますし、外に干外にもすぐに干しに行けるように勝手口を作りました。

**建築家 POINT**  
視線のコントロール



## 子供部屋・ファミリークローゼット



子ども部屋は、将来2部屋にできるようになれば良いです。LDKのほうが重要なので、広さは机とベッドが置ければ問題ないです。



子ども部屋は7.5畳確保しました。  
2部屋に分けても、シングルベッドと机を置ける広さです。  
収納は各部屋に付けるより、ファミリークローゼットで一括したほうが部屋自体の空間も広く取れますし、各部屋からもアクセスしやすい配置です。お客様は入ることのないプライベートな空間になっています。

## 寝室



ご主人は夜勤をされるので、昼間に就寝されますよね？眠りが浅いとかはありますか？



全然、浅くないですね。笑  
ただ、ゲームが好きなのでリビングとは別にゲームしたり、漫画読んだりしたいです。



眠りは浅くないとのことでしたが、寝室なのでリビングや玄関から距離を取った方がより静かに過ごせるかと思うので1番端に配置しました。ゲームや漫画も集中して楽しみやすいかと思います。



南側の隣家は平屋のため、四方の中で1番光が取り入れやすい方位。隣家と被らないように、プライベートな部屋部分はあまりオープンにせず、被らない方は庭とテラスをオープンなつくりにしている。

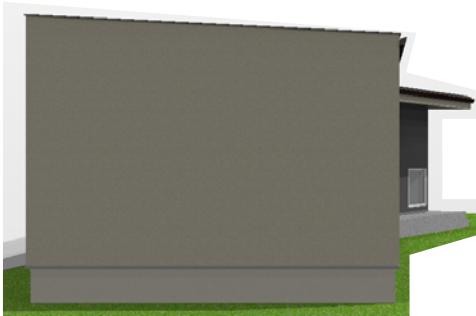
南

隣家の位置と被る 隣家の位置と被らない



すぐ裏に隣家があり、西側は寝室やファミリークローゼットなどプライバシー性の高い部屋になるため完全に閉じている。

西



建物の顔になる方向。

外からは室内の様子が分からぬような窓の配置と角度になっている。

東



北側は隣家が密集しているので、外からは見えないけれど光は入るような窓の配置をしている。

隣家の庭の緑も利用して、室内から緑が見えるように配置している。

北



## 熊本市風配図

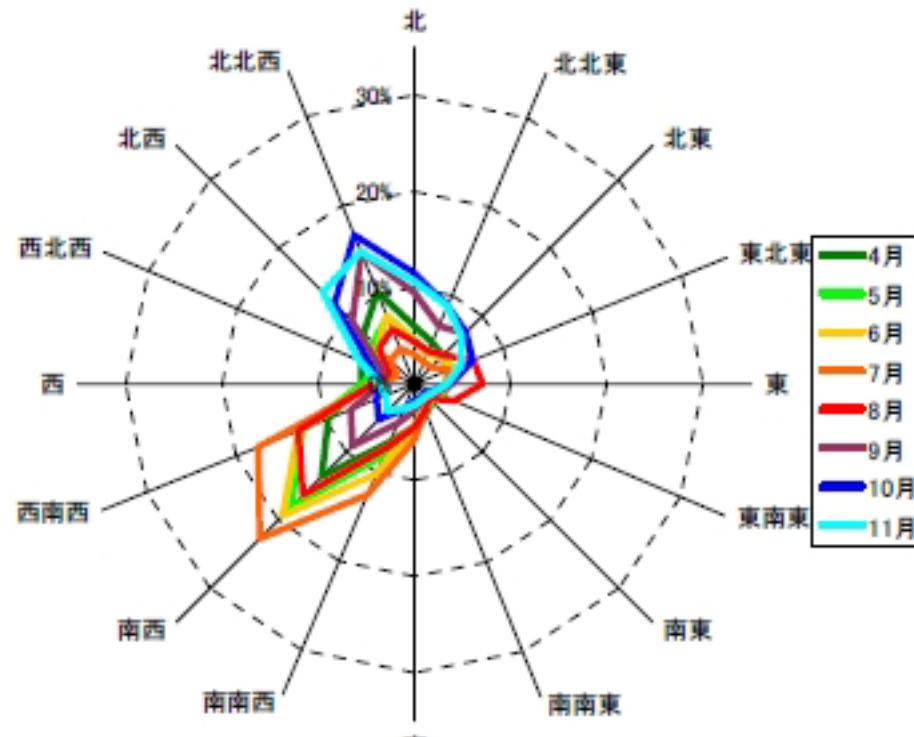


図4a 月別風配図(起居時)

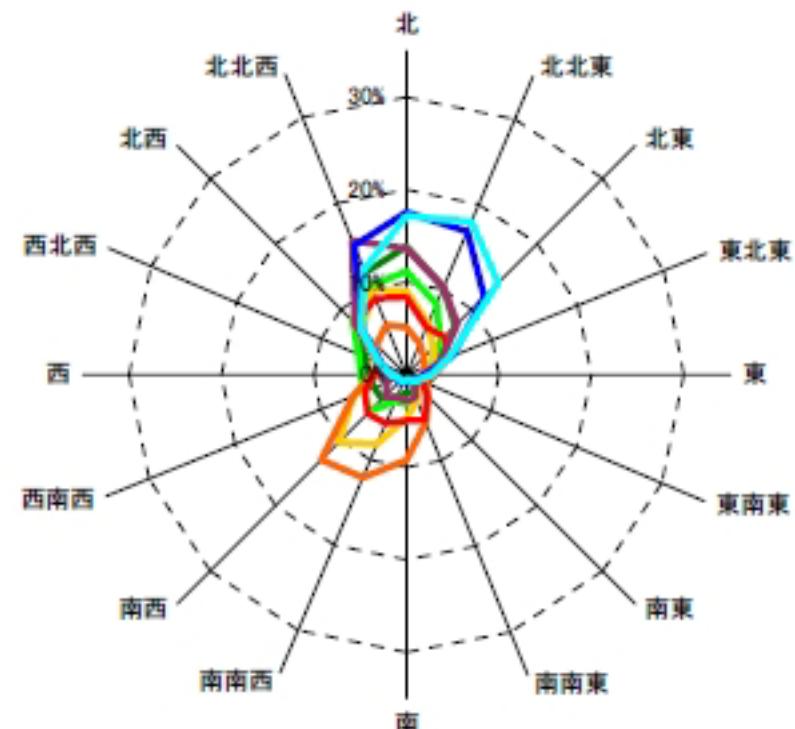


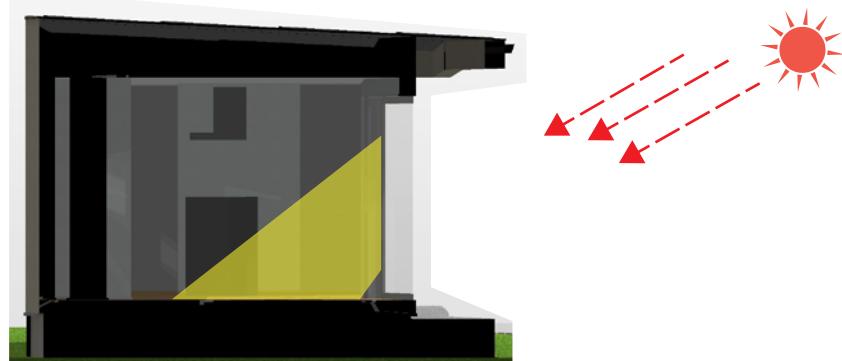
図4b 月別風配図(就寝時)

風配図とは、各方位の風向および風速の頻度を表した図です。

建築家は周辺の建物や環境を実際に目で見て、データと照らし合わせながら風の向きや、入り方なども計算して「窓の配置」「窓の種類」「建物の配置」を決めていきます。

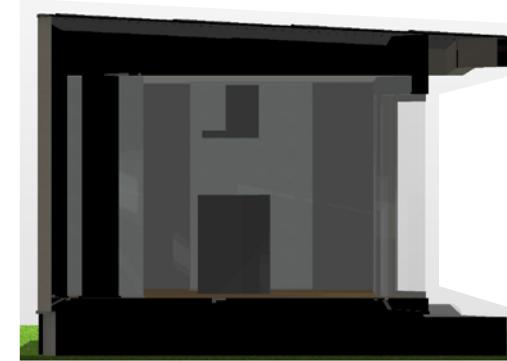
冬は部屋の奥まで光を取り込み暖かく、夏は窓から入る直射日光を避け、涼しく  
自然の力を最大限活かしたパッシブ設計。

真冬午後12時

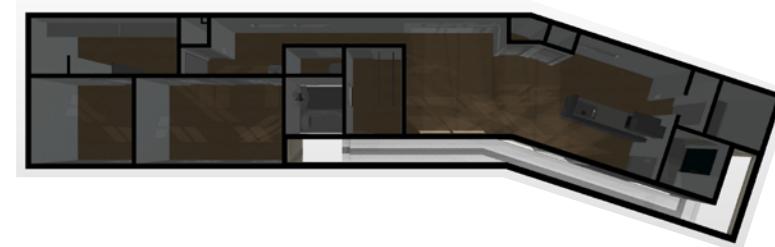
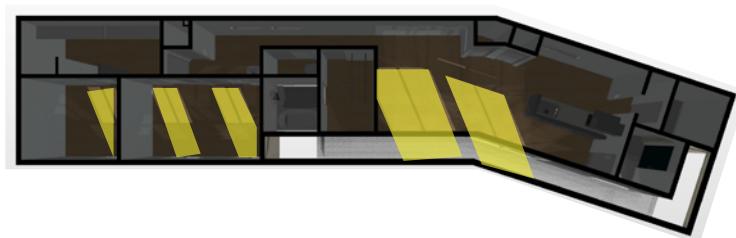


(冬至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が低くなる為、太陽が西に傾く頃、窓から部屋の奥まで暖かい光を取り込むことができる。

真夏午後12時



(夏至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が最も高くなる為、軒を出して日射を遮り、室温の上昇を抑える。



夏と冬では太陽の位置が異なります。建築家は季節ごとに変わる太陽の動きも熟知した上で設計します。